

令和5年度医療的ケア児支援関連事業の取組

令和6年2月7日
青森県健康福祉部障害福祉課

令和5年度青森県の取組（医療的ケア児支援体制図）

支援体制整備	人材育成	事業所等支援	普及啓発	家族支援
青森県小児在宅支援センター運営事業（障害福祉課→県立中央病院委託） ①相談支援 ア) 支援機関への支援（間接支援） ウ) 市町村訪問支援 ②人材育成 ア) 小児在宅サポーター勉強会 イ) コーディネーターフォローアップ研修会 ③調査・分析 医療的ケア児等事業所等受入状況調査 ○センターHP等による情報提供・情報発信 ①相談支援 イ) 家族への相談支援（直接支援）				
青森県医療的ケア児支援地域展開促進事業（障害福祉課）【重点】 ①圏域アドバイザー配置連携強化事業 ②在宅医ケア児対応看護師確保・育成事業 ・初期技術研修 ・スキルアップ研修 ・ナースセンターキャリア支援 ・訪問看護対象新規参入研修会 ・情報交換会 等 ③短期入所施設開設促進事業 ④医療的ケア児保育等受入促進事業（こどもみらい課） ・医療的ケア児技術研修 ・普及啓発研修 ・保育所等受入啓発事業				
医療的ケア児支援体制検討部会開催事業（障害福祉課） 県医療的ケア児支援体制検討部会の設置・運営【2回開催】	医療的ケア児支援ネットワーク促進事業（障害福祉課） 医療的ケア児等コーディネーター養成研修等の実施【支援者31人、コーディネーター29人修了】	医療的ケア児保育支援事業（こどもみらい課） 市町村が実施する保育所等への看護師派遣、その他の医ケア児の受入に資する事業に係る費用の補助【実績：7市2町（中核市を含む）】	県HP等による情報発信（障害福祉課） 医療的ケア児支援について支援者や家族に対して情報を発信	
医療的ケア児支援体制整備に係る市町村合同研修会（障害福祉課・小児在宅支援センター） 【1回実施、38市町村計136名参加】	特別支援学校における医療的ケア実施体制整備事業（教育庁学校教育課） ○医療的ケア運営協議会【2回実施】 ○指導医の巡回指導等【31回以上】（R5.11月） ○医療的ケア基本研修【8月実施 55名参加】 ○医療的ケア実施校連絡協議会【1月実施 44名実施】 ○医療的ケア実施校担当者フラッシュアップ研修会【2月実施】		医療的ケア児及び家族のニーズに即したきめ細かな支援（市町村）	

①圏域アドバイザー配置連携強化事業

目的

医療的ケア児とその家族が安心して在宅で生活できるよう、小児在宅支援センターと協働のもと、圏域内を調整しコーディネーターを支援する医療的ケア児等圏域アドバイザーを設置し、圏域内の支援体制を整備する。

事業概要及び実績等

事業内容	詳細	実績	評価・方向性														
①圏域アドバイザーの個別支援	医療的ケア児等コーディネーターや市町村等から依頼を受け、小児在宅支援センターと協働の上、支援を行う	<table border="1"> <thead> <tr> <th>支援内容</th> <th>実績 (R5.4～R5.12末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圏域ネットワークづくり</td> <td>12件</td> </tr> <tr> <td>コーディネーター等への助言</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td>災害対策</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>個別ケースへの対応</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>44件</td> </tr> </tbody> </table>	支援内容	実績 (R5.4～R5.12末)	圏域ネットワークづくり	12件	コーディネーター等への助言	15件	災害対策	6件	個別ケースへの対応	5件	その他	6件	計	44件	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザーとセンターとの連携体制が整備され、コーディネーターの育成が進められている。 ・来年度も引き続きアドバイザーを配置し支援を継続する。 ・コーディネーターの質の向上に向けて取り組んでいく。
支援内容	実績 (R5.4～R5.12末)																
圏域ネットワークづくり	12件																
コーディネーター等への助言	15件																
災害対策	6件																
個別ケースへの対応	5件																
その他	6件																
計	44件																
②圏域別勉強会	圏域アドバイザーを中心に、圏域の課題等を踏まえた勉強会等を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・青森圏域：R5.4.27、28名（県主催） ・上十三圏域：R5.11.20、41名（上十三圏域協議会主催） ・下北圏域：R6.1.27、62名（むつ市自立支援協議会主催） 															
③取組事例集の作成	各圏域での取組事例を県内に波及させるため、取組事例集を作成し関係機関に配付する。	<ul style="list-style-type: none"> ・参考1のとおり作成 ・R6.3に県ホームページ掲載及び関係機関宛配付予定 															
④圏域アドバイザー情報交換会	圏域アドバイザー等を対象に、各圏域の取組や事例を共有する。	令和5年9月19日開催															

目的

県ナースセンターと連携のもと、在宅で過ごす医療的ケア児に関わる看護師を確保するとともに、各種研修により機運醸成とスキルアップを図る。

事業概要及び実績等

事業内容		実施状況	実績	評価・方向性
① 各種 研修	ア 普及啓発 研修	○対象：ナースセンターに登録している看護師等 ○日時：令和5年6月9日（金）集合研修 ○内容：（講義） 医ケアに見出す専門職としてのやりがい（事例） 医ケア児支援で活躍する看護師の事例発表	参加者：39名 講義の理解度「理解できた」と回答した比率100%	<ul style="list-style-type: none"> 研修に参加した看護師の医療的ケア児支援の理解を高めることができた。 キャリア支援により医療的ケア児支援の就業につながった。 今後は、医療的ケア児支援の対応が不足している事業所等の看護師に焦点をあてて事業を実施する。
	イ 初期技術 研修	○対象：ナースセンターに登録している看護師等 ○日時：令和5年6月26日（月）集合研修 ○内容：（講義・演習） 医療的ケア児支援の手技について・医療機器の概要について	参加者：19名 講義の理解度「理解できた」と回答した比率100% 演習の理解度「理解できた」と回答した比率84.6%	
	ウ スキル アップ研 修	○対象：医療的ケア児支援に従事している看護師等 ○日時：令和5年9月13日（水）集合研修 ○内容：（講義） 看護職同士の連携方法、医療的ケア児のアセスメント（意見交換）	参加者：10名 講義について「参考になった」と回答した比率100%	
② 人材 確保	ナースセンター キャリア 支援	小児医療に関心のある看護師に対し、求人事業所の情報提供、面接等支援を行い、医療的ケア児支援事業所の就労を促進する。	○医ケア児支援に関する相談件数 27件（R5.12末現在） ○医ケア児支援の就業に係る面接対応人数 9人（R5.12末現在） うち就業者数 6人	

目的

医療的ケア児支援を行う訪問看護ステーションの新規参入促進及び訪問看護ステーション間及び医療機関とのネットワーク体制を強化する。

事業概要及び実績等

事業名	実施状況	実績	評価・方向性
①新規参入研修会	<p>○対象：県内訪問看護ステーション</p> <p>○日時：令和5年7月19日（水）オンライン研修</p> <p>○内容：（講義） 医療的ケア児の在宅生活を支える訪問看護の大切な3つのポイント （情報提供） 県訪問看護総合支援センターのご紹介</p> <p>○参加者：43名</p>	<p>参加者：43名</p> <p>医療的ケア児支援に携わりたいと思うか「非常にそう思う」100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 研修を受講した事業所については、研修受講によりモチベーションが高まり医療的ケア児支援への興味につながった。 医療的ケア児の受入を拡大するために、医療的ケア児支援に興味のある事業所に対し、個別にアプローチしていく。 <p><参考> 令和5年度医療的ケア児対応可能な訪問看護ステーションのうち、新規事業所数11事業所（うち本事業参加事業所数6事業所）</p>
②情報交換会	<p>○対象：医療的ケア児支援に従事している訪問看護ステーション等</p> <p>○日時：令和5年10月28日（土）集合研修</p> <p>○内容：（講義） 地域連携を通して子どもと家族が生き生きと暮らせるための小児訪問看護の実際 （情報交換・グループワーク）</p>	<p>参加者：24名</p> <p>医療的ケア児支援に一層携わりたいと思うか「非常にそう思う」92%</p>	
③訪問看護の「良さ」伝え方研修会	<p>○対象：県内訪問看護ステーション</p> <p>○日時：令和6年2月3日（土）オンライン開催</p> <p>○内容：（講義・演習） 訪問看護の「良さ」をどう伝えるか</p>		

目的

地域生活を支える短期入所事業所における医療的な対応が求められているが、本県の医療的短期入所事業所は、青森・八戸圏域に4事業所と偏在しており、サービスを利用したくても容易に利用できない状況が生じている。

医療的ケア児が在宅で安心して生活できるよう、令和4年度の取組を踏まえ、開設に関心のある医療機関や介護老人保健施設等に対する個別提案訪問や、新規に指定を受けた事業所等へのフォローアップ等により、医療型短期入所施設の新規開設を促進する。

事業概要・実績・評価

事業内容	詳細	実施状況 (R5.12月末)		評価・方向性
①個別提案訪問	○対象：開設に関心のある医療機関及び介護老人保健施設等 ○内容：訪問により開設を働きかけるとともに、必要に応じて収入ミュレーションの例示等を行う。	個別訪問先 5か所	○令和5年度新規指定事業所数 3カ所 (圏域別：八戸1 西北五1 上十三1)	<ul style="list-style-type: none"> 医療型短期入所事業所の指定機関は7事業所となったほか、実際の利用にもつながった。 本事業の理解、新規指定までの支援及び利用者を受け入れるまでの準備支援等1事業所に対し相当な時間を要する。優良事例を踏まえ、さらに個別に事業所に働きかけていく。
②他施設視察支援	○対象：開設を検討している又は指定を受けた事業所等 ○内容：実際の受入や運営などの理解を深めるため、医療型短期入所事業所（県内又は県外都道府県）への視察を行う。	視察数 3か所	○新規開設事業所における医療的ケア児者利用実績（年度内予定含） 2人 ○令和6年度中指定見込または新規開設に前向きな事業所 4か所 (圏域別：青森1 津軽1 西北五1 下北1)	
③フォローアップ	○対象：新規に指定を受けた事業所等 ○内容：既に指定を受けている施設からの職員派遣等により、利用者受入に当たっての注意点の説明や実地における研修等を行う。	フォロー事業所 3か所 延べ11回	○圏域勉強会や県庁広報番組で医療型短期入所事業所の概要や取組を紹介し、普及啓発も実施	
④電話相談窓口	○対象：開設を検討している又は指定を受けた事業所等 ○内容：受入にあたっての支援上の相談、事業運営や報酬請求等専門的な相談窓口を設置する。	電話等での問い合わせ 50件		

目的

保育園等において医療的ケア児の受入を増やすため、保育施設事業者、保育従事者、行政職員等を対象に、保育所等における医療的ケア児保育における基本的な知識等の普及啓発及び保育所等に勤務する保育従事者や看護師を対象に医療的ケアに関する技術習得を目指した演習形式研修会を実施する。

事業概要

事業内容	実施状況	実績	評価・方向性
①医療的ケア児保育所等受入啓発事業	<p>○日時：令和5年10月24日（火）</p> <p>○対象：保育支援事業者、保育従事者（園長含む）、看護師、行政職員等</p> <p>○内容：（講演） 本県における医療的ケア児支援の現状と課題及び小児に対する医療的ケアの留意点について（県内受入事例紹介） にじいろ保育園、青森県立青森若葉養護学校、こども園あやや、平川市子育て健康課</p>	57人	<ul style="list-style-type: none"> フォーラムを対面で実施し、パネルディスカッションにおいて一般参加者からの意見、体験談等をその場で質疑する等活発な交流が行われた。 技術研修は、設備を複数使用する等の感染症対策を行った上で予定どおり実施できた。
②医療的ケア児技術研修	<p><保育従事者対象></p> <p>○日時：令和5年7月19日（水）</p> <p>○内容：（講義） 小児の医療的ケアについて～小児の健康状態の観察ポイント、具体的な器材や使い方、専門用語等～</p>	18人	<ul style="list-style-type: none"> 医療的ケア児保育受入を拡大するために、今後も理解を促進するためのフォーラム・技術研修を継続する。 <p>【参考】 R5医療的ケア児受入可能（要相談除く） 施設数…46施設</p>
	<p><看護職者対象></p> <p>○日時：令和5年8月28日（月）</p> <p>○内容：（講義） 小児の医療的ケアについて～喀痰吸引、経管栄養等～（演習） 医療的ケアの実際について</p>	14人	